



# 国際ロータリー 2019-2020 年度 前橋北ロータリークラブ会報



2019年 8月19日 第1657回

会長 湯澤晃 幹事 廣木晴久  
会場監督 岡崎会員

◇点鐘 会長  
◇歌 それでこそロータリー

◇出席率 72.72 %  
◇前々回出席率 73.84%

## ◇新入会員入会式



熊木朋史 会員  
事業所 大信工業(株)  
役職 取締役専務

## ◇ニコニコBOX

岡野勇 会員…新会員熊木朋史さんの入会を祝して。  
亦野高裕 会員…熊木君、入会おめでとう、ございます。  
野球部もよろしくお祈りします  
中村義寛 会員…今回前橋育英高校野球部の夏の甲子園出場には多くの方々のご支援、ご声援を頂き、ありがとうございました。今回は残念な結果でしたが、次の春、夏には上を目指して頑張ってくれると思うのでまた、応援をよろしくお祈りいたします。

## ◇幹事報告 廣木幹事 持回り理事会

## ◇委員会報告 親睦委員会 山田委員長 野球部 大島会員

## ◇会員卓話 駒井健一郎会員

## ◇会長の時間「太宰治」

私は先週お盆休みを頂きまして、青森県の弘前市で弟が生活していますので3泊4日位行って参りました。弘前にはもう2,3回行ってますが今回初めて青森県の五所川原市の金木町という所にある斜陽館に見学に行って参りました。

斜陽館っていう建物皆さんご存知だと思いますが太宰治の生家です。施設そのものは本当に大きな建物で、なかなか趣きのある建物ですが、見学する所もそんなに多くはないのですぐ見終わってしまいました。

改めて太宰治の生まれ育った建物という事で見学をしました。かなり大きいお家で本名は津島さんという名前の方です。お父様が豪農で小作人が何百人いるお家に生まれたという事です。お父様は貴族院の議員さんもされておりました。太宰治本人は明治40年1907年に生まれ地元の小学校を出てその後、青森県の中学校、弘前の県立高校に進学して最終的に東大に進まれています。彼は16歳の頃から小説、文筆業を始めていました。私もその歴史を斜陽館に行って初めて知りました。本当に恥ずかしながら名前も作品名も知ってますが本を読んだことがない。こちらに戻って来て斜陽館の名前の元になった斜陽という小説を本格的にちょっと読みました。

斜陽という小説は1947年に書き上がりました。その1年後に実は皆さんご存知だと思いますが玉川浄水に入水自殺をしまして亡くなられています。39歳、だから38歳の時に斜陽という小説を書いています。中身はご存知の方もこれから読まれる方もいらっしゃると思うのであえて説明しません。貴族出身の30歳くらいの女性が落ちぶれていく様子を書いた小説です。まさに太宰本人の人生にちょっと重なる所がありました。タイミング的に丁度良い時に小説が読めたなと思います。振り返って斜陽館見学した時の事を思い出して太宰という人間が族の家に生まれて、いろいろ悩み年を重ねて成長していき最終的には自殺にまで至った。斜陽館を見学した事もすごく勉強になりました。青森の弘前からだいたい1時間弱、青森市から3、40分の場所にあります。もし皆さん今後、青森に行かれる機会があったらぜひ斜陽館もご覧になって頂けたらなと思います。別に斜陽館の人間でもなんでも無いんですけども、そういう事で私自身もちょっと太宰の小説を読みたいなっていう風に思っております。以上で会長の時間を終わらせていただきます。

